

学 校 通 信



第16号

<http://www.edu.city.suzuka.mie.jp/shira-i/>

鈴鹿市立白鳥中学校

学校図書館と読書の取組の紹介

白鳥中学校の図書館は、図書巡回指導員という方が、毎週月曜日に本校にきて、図書館の整備をしています。その時に、ボランティアの方が2名来てくれて、サポートをしてくれています。



新しく入った本は、ここに置かれています。色々な分野の本が入ってきます。



読みたい本があれば、このリクエストボックスを活用してください。



図書館が閉まっていたら、この返却ボックスに入れておいてください。



図書館前にあります。季節に合わせて、飾りが変わってきます。全て、手作りです。



職業に関する本もたくさんあります。将来就きたい職業について調べることができます。



各教室には、学級文庫が置かれています。図書館にある本や担任の先生の本が選ばれています。

【校長より】

図書館には様々な本がたくさんあります。読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、探究心やよりよく生きる態度等を身につけていくうえで不可欠なものです。また、読書によって、いろいろな人の人生経験や考え方などに触れることができます。自分だけの考えだけではなく、いろいろな人の考えや意見を参考にしながら、総合的に解決の方向を決めて行動して行くことができ、自分に自信がつきます。一日のなかで少しでも読書の時間を確保し、読書の習慣をつけていきましょう。

火災避難訓練について

12月21日(木)、火災避難訓練をしました。今回は、第1理科室から出火したという想定での訓練でした。運動場に整列し、全員の安全確認終了までおよそ3分30秒程度かかりました。災害はいつ発生するかわかりませんので、日ごろから、ご家庭でいろいろなことを想定して、話し合いをしておいてください。

【動画「煙の怖さと対処法」より】

- ・ドアを閉めて、他の部屋に煙がいかないようにする。
- ・煙を吸わない、吸わせないようにする。
- ・火災の時の死因の第1位は「一酸化炭素中毒」です。



【動画「消火器の正しい使い方」より】

- ・火事を見つけたら、大きな声で「火事だ」と叫んで、人を集めます。
- ・油の入った鍋から火が出たら、水をかけてはいけません。余計に燃え上がります。酸素を断つために、鍋にふたをすることは有効ですが、やけどに注意してください。ふたをして、火がおさまったと思い、鍋のふたをとると、また燃え上がります。(油の温度が下がらない限り、また燃え上あがります。)
- ・ふたの上に水で濡らしたタオルを置くことは有効です。
- ・一番良い方法は、消火器を使うことです。ホームセンター等に家庭用の消火器が売っています。
- ・火が天井まで行ったら、消火器では消せません。すぐに逃げましょう。

【生徒の感想より】

しゃがんでいても、煙がいっぱいだったら、壁を使って逃げるのがわかりました。

消火器は「ピン抜く」「構える」「押す」で正しく使っていきたいです。

煙がでたときは、しゃがんで避難することを学びました。

煙の温度は 500～600度もあり、煙は上の方にたまっていくということを知りました。

防火シャッターが閉まってきても、無理にスライディングしなくても、すぐそばにくぐり戸があるので、それを使えばよいことを知りました。

スプレータイプの消火器があることを初めて知りました。

煙を吸わないようにハンカチやタオルでおさえるように気をつけたいです。

自分の家に消火器はないから、買って置く方が良いと思いました。

【校長より】

火災で最も恐ろしいのは炎よりも煙です。火災の煙は一酸化炭素などの有毒ガスを多量に含むので、煙を吸い込むことで中毒を起こします。気絶してしまい、最悪の場合は死に至ることもあります。炎を上げて燃えているときに発生する「黒い煙」は酸素の含有量が少なく一酸化炭素などの有毒ガスを多く含みます。避難するときは煙を吸わないように口と鼻をタオルやハンカチでおさえるか、服の袖で鼻と口をおさえるなどし、姿勢を低くして逃げましょう。